

ヨハネの黙示録

序文と挨拶

1 イエス・キリストの黙示。この黙示は、すぐにも起こるはずのことを、神がその僕たちに示すためキリストにお与えになり、そして、キリストがその天使を送って僕ヨハネにお伝えになったものである。2 ヨハネは、神の言葉とイエス・キリストの証し、すなわち、自分の見たすべてのことを証した。3 この預言の言葉を朗読する人と、これを聞いて、中に記されたことを守る人たちは幸いである。時が迫っているからである。

4-5 ヨハネからアジア州にある七つの教会へ。今おられ、かつておられ、やがて来られる方から、また、玉座の前におられる七つの霊から、更に、証人、誠実な方、死者の中から最初に復活した方、地上の王たちの支配者、イエス・キリストから恵みと平和があなたにあらるよう。

わたしたちを愛し、御自分の血によって罪から解放してくださった方に、6 わたしたちを王とし、御自分の父である神に仕える祭司としてくださった方に、栄光と力が世々限りなくありますように、アーメン。

を著て、胸には金の帯を締めておられた。14 その頭、その髪の毛は、白い羊毛に似て、雪のように白く、目はまるで燃え盛る炎、15 足は炉で精錬されたしんちゅうのように輝き、声は大水のどろろきようであった。16 右の手に七つの星を持ち、口からは鋭い両刃の剣が出て、顔は強く照り輝く太陽のようであった。

17 わたしは、その方を見ると、その足もとに倒れて、死んだようになった。すると、その方は右手をわたしのの上に置いて言われた。「恐れるな。わたしは最初の者にして最後の者、18 また生きている者である。一度は死んだが、見よ、世々限りなく生きて、死と陰府の鍵を持っている。19 さあ、見たことを、今あることを、今後起ころうとしていることを書き留めよ。20 あなたは、わたしの右の手に七つの星と、七つの金の燭台とを見たが、それらの秘められた意味はこうだ。七つの星は七つの教会の天使たち、七つの燭台は七つの教会である。

エフェソにある教会にあてた手紙

2 『右の手に七つの星を持つ方、七つの金の燭台の間を歩く方が、次のように言われる。2 「わたしは、あなたの行いと労苦と忍耐を知っており、また、あな

7 見よ、その方が雲に乗って来られる。すべての人の目が彼を仰ぎ見る、ことに、彼を突き刺した者どもは。

地上の諸民族は皆、彼のために嘆き悲しむ。然り、アーメン。

8 神である主、今おられ、かつておられ、やがて来られる方、全能者がこう言われる。「わたしはアルファであり、オメガである。」

天上におられるキリストの姿

9 わたしは、あなたがたの兄弟であり、共にイエスと結ばれて、その苦難、支配、忍耐にあずかっているヨハネである。わたしは、神の言葉とイエスの証しのゆえに、パトモスと呼ばれる島にいた。10 ある主の日のこと、わたしは、霊に満たされていたが、後ろの方でラッパのように響く大声を聞いた。11 その声はこう言った。「あなたの見ていることを巻物に書いて、エフェソ、スミルナ、ベルガモン、ティアティラ、サルディス、フィラデルフィア、ラオディキアの七つの教会に送れ。」

12 わたしは、語りかける声の主を見ようとして振り向いた。振り向くと、七つの金の燭台が見え、13 燭台の中央には、人の子のような方がおり、足まで届く衣が、あなたがたに我慢できず、自ら使徒と称して実はそうでない者どもを調べ、彼らのうそを見抜いたことも知っている。3 あなたはよく忍耐して、わたしの名のために我慢し、疲れ果てることがなかった。4 しかし、あなたに言うべきことがある。あなたは初めのころの愛から離れてしまった。5 だから、どこから落ちたかを思い出し、悔い改めて初めのころの行いに立ち戻れ。もし悔い改めなければ、わたしはあなたのところへ行行って、あなたの燭台をその場所から取りのけてしまおう。6 だが、あなたには取り柄もある。ニコライ派の者たちの行いを憎んでいることだ。わたしもそれを憎んでいる。7 耳ある者は、霊が諸教会に告げることが聞くがよい。勝利を得る者には、神の楽園にある命の木の実を食べさせよう。」

スミルナにある教会にあてた手紙

8 スミルナにある教会の天使にこう書き送れ。『最初の者にして、最後の者である方、一度死んだが、また生きた方が、次のように言われる。9 「わたしは、あなたの苦難や貧しさを知っている。だが、本当はあなたは豊かなのだ。自分はユダヤ人であると言う者どもが、あなたを非難していることを、わたしは知っている。実は、彼らはユダヤ人ではなく、サタン

22 見よ、わたしはこの女を床に伏せさせよう。この女と共にみだらなことをする者たちも、その行いを悔い改めないなら、ひどい苦しみに遭わせよう。23 また、この女の子供たちも打ち殺そう。こうして、全教会は、わたしが人の思いや判断を見通す者だということを悟るようになる。わたしは、あなたがたが行ったことに応じて、一人一人に報いよう。24 ティアテラの人たちのの中にいて、この女の教えを受け入れず、サタンのいわゆる奥深い秘密を知らないあなたがたに言う。わたしは、あなたがたに別の重荷を負わせない。25 ただ、わたしが行くときまで、今持っているものを固く守れ。26 勝利を得る者に、わたしの業を終わりで守り続ける者に、

27 わたしは、諸国の民の上に立つ権威を授けよう。彼は鉄の杖をもって彼らを治める、土の器を打ち砕くように。

28 同じように、わたしも父からその権威を受けたのである。勝利を得る者に、わたしも明けの明星を与えらる。29 耳ある者は、霊が諸教会に告げることがよくよい。』

の集いに属している者どもである。10 あなたは、受けようとしている苦難を決して恐れてはいけない。見よ、悪魔が試みるために、あなたがたの何人かを牢に投げ込もうとしている。あなたがたは、十日の間苦しめられるであろう。死に至るまで忠実であれ。そうすれば、あなたがたに命の冠を授けよう。11 耳ある者は、霊が諸教会に告げることがよくよい。勝利を得る者は、決して第二の死から害を受けることはない。』

ベルガモンにある教会にあてた手紙

12 ベルガモンにある教会の天使にこう書き送れ。『鋭い両刃の剣を持つている方が、次のように言われる。13 わたしは、あなたの住んでいる所を知っている。そこにはサタンの王座がある。しかし、あなたはわたしの名をしっかりと守って、わたしの忠実な証人アンティパスが、サタンの住むあなたがたの所で殺されたときでさえ、わたしに對する信仰を捨てなかった。14 しかし、あなたがたに對して少しばかり言うべきことがある。あなたがたのところには、バラムの教えを奉ずる者がいる。バラムは、イスラエルの子らの前につまずきとなるものを置くようにバラクに教えた。それは、彼らに偶像に献げた肉を食べさせ、みだらなこと

をさせるためだった。15 同じように、あなたがたのところにもニコライ派の教えを奉ずる者たちがいる。16 だら、悔い改めよ。さもなければ、すぐにあなたがたのところへ行って、わたしの口の剣でその者どもと戦おう。17 耳ある者は、霊が諸教会に告げることがよくよい。勝利を得る者には隠されていたマンナを与えよう。また、白い小石を与えよう。その小石には、これを受ける者のほかにはだれにも分からぬ新しい名が記されている。』

ティアテラにある教会にあてた手紙

18 ティアテラにある教会の天使にこう書き送れ。『目は燃え盛る炎のようで、足はしんちゅうのように輝いている神の子が、次のように言われる。19 わたしは、あなたの行い、愛、信仰、奉仕、忍耐を知っている。更に、あなたの近ごろの行いが、最初のころの行いにまさっていることも知っている。20 しかし、あなたがたに對して言うべきことがある。あなたは、あのイゼベルという女のすることを大目に見ている。この女は、自ら預言者と称して、わたしの僕たちを教え、また惑わして、みだらなことをさせ、偶像に献げた肉を食べさせている。21 わたしは悔い改める機会を与えたが、この女はみだらな行いを悔い改めようとしな

3 サルデイスにある教会に

1 サルデイスにある教会の天使にこう書き送れ。

『神の七つの霊と七つの星とを持つている方が、次のように言われる。『わたしはあなたの行いを知っている。あなたが生きているとは名ばかりで、実は死んでいる。2 目を覚ませ。死にかけている残りの者たちを強めよ。わたしは、あなたの行いが、わたしの神の前に完全なものとは認めない。3 だから、どのように受け、また聞いたか思い起こして、それを守り抜き、かつ悔い改めよ。もし、目を覚ましていないなら、わたしは盗人のように行くであろう。わたしがいつあなたのところへ行くか、あなたには決して分からない。4 しかし、サルデイスには、少数ながら衣を汚さなかった者たちがいる。彼らは、白い衣を着てわたしと共に歩くであろう。そうするにふさわしい者たちだからである。5 勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。わたしは、彼の名を決して命の書から消すことはなく、彼の名を父の前と天使たちの前で公に言い表す。6 耳ある者は、霊が諸教会に告げることがよくよい。』

よ。悔い改めよ。20 見よ、わたしは戸口に立って、たたいていて。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。21 勝利を得る者を、わたしは自分の座に共に座らせよう。わたしが勝利を得て、わたしの父と共にその玉座に着いたのと同じように。22 耳ある者は、霊が諸教会に告げることを聞くがよい。』」

天上の礼拝

4 1 その後、わたしが見ていると、見よ、開かれた門が天にあった。そして、ラッパが響くようにわたしに語りかけるのが聞こえた、あの最初の声があった。『ここへ上って来い。この後必ず起こることをあなたに示そう。』2 わたしは、たちまち霊に満たされた。すると、見よ、天に玉座が設けられていて、その玉座の上に座っている方がおられた。3 その方は、碧玉や赤めのうのようであり、玉座の周りにはエメラルドのような虹が輝いていた。4 また、玉座の周りに二十四の座があって、それらの座の上には白い衣を着て、頭に金の冠をかぶった二十四人の長老が座っていた。5 玉座からは、稲妻、さまざまな音、雷が起こった。また、玉座の前には、七つのともし火が

フィラデルフィアにある教会にあてた手紙
1 フィラデルフィアにある教会の天使にこう書き送れ。

『聖なる方、**真実なる方**、**ダビデの鍵を持つ方**、

この方が開けると、だれも閉じることなく、閉じると、だれも開けることがない。

その方が次のように言われる。『わたしはあなたの行いを知っている。見よ、わたしはあなたの前に門を開いておいた。だれもこれを閉めることはできない。あなたは力が弱かったが、わたしの言葉を守り、わたしの名を知らないと言わなかった。9 見よ、サタンの集いに属して、自分はユダヤ人であると言う者たちには、こうしよう。実は、彼らはユダヤ人ではなく、偽っているのだ。見よ、彼らがあなたの足もとに来てひれ伏すようにし、わたしがあなたを愛していることを彼らに知らせよう。10 あなたは忍耐についてのわたしの言葉を守った。それゆえ、地上に住む人々を試すため全世界に来ようとしている試験の時に、わたしもあなたを守る。11 わたしは、すぐに来る。あなたの栄冠をだれにも奪われないように、持っているものを固く守りなさい。12 勝利を得る者を、わたしの神の神殿の柱にしよう。彼はもう決して外へ出ることはない。わ

たしはその者の上に、わたしの神の名と、わたしの神の都、すなわち、神のもとから出て天から下って来る新しいエルサレムの名、そして、わたしの新しい名を書き記そう。13 耳ある者は、霊が諸教会に告げることを聞くがよい。』

ラオディキアにある教会にあてた手紙

14 ラオディキアにある教会の天使にこう書き送れ。『アーメンである方、**誠実で真実な証人**、**神に創造された万物の源**である方が、次のように言われる。15 「わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく熱くもない。むしろ、冷たいか熱いか、どちらかであってほしい。16 熱くも冷たくもなく、なまぬるいので、わたしはあなたを口から吐き出そうとしている。17 あなたは、『わたしは金持ちだ。満ち足りている。何一つ必要な物はない』と言っているが、自分が惨めな者、哀れな者、貧しい者、目の見えない者、裸の者であることが分かっている。18 そこで、あなたに勧める。裕福になるように、火で精錬された金をわたしから買うがよい。裸の恥をさらさないように、身に着ける白い衣を買い、また、見えるようになるために、目に塗る薬を買うがよい。19 わたしは愛する者を皆、叱ったり、鍛えたりする。だから、熱心に努め

燃えていた。これは神の七つの霊である。6 また、玉座の前は、水晶に似たガラスの海のようにであった。この玉座の中央とその周りに四つの生き物がいたが、前にも後ろにも一面に目があった。7 第一の生き物は獅子のようであり、第二の生き物は若い雄牛のようで、第三の生き物は人間のような顔を持ち、第四の生き物は空を飛ぶ鷲のようであった。8 この四つの生き物には、それぞれ六つの翼があり、その周りにも内側にも、一面に目があった。彼らは、昼も夜も絶え間なく言い続けた。

『聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、全能者である神、主、

かつておられ、今おられ、やがて来られる方。』9 玉座に座っておられ、世々限りなく生きておられる方に、これらの生き物が、栄光と誉れをたたえて感謝をささげると、10 二十四人の長老は、玉座に着いておられる方の前にひれ伏して、世々限りなく生きておられる方を礼拝し、自分たちの冠を玉座の前に投げ出して言った。

11 主よ、わたしたちの神よ、あなたこそ、

栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方。あなたは万物を造られ、

御心によって万物は存在し、
また創造されたからです。」

小羊こそ巻物を開くにふさわしい

5 1 またわたしは、玉座に座っておられる方の右の手に巻物があるのを見た。表にも裏にも字が書いてあり、七つの封印で封じられていた。2 また、一人の力強い天使が、「封印を解いて、この巻物を開くのにふさわしい者はだれか」と大声で告げるのを見た。3 しかし、天にも地にも地の下にも、この巻物を開くことのできる者、見ることのできる者は、だれもいなかった。4 この巻物を開くにも、見るにも、ふさわしい者がだれも見当たらなかったもので、わたしは激しく泣いていた。5 すると、長老の一人がわたしに言った。「泣くな。見よ。ユダ族から出た獅子、ダビデのひこばえが勝利を得たので、七つの封印を開いて、その巻物を開くことができる。」

6 わたしはまた、玉座と四つの生き物の間、長老たちの間に、屠られたような小羊が立っているのを見た。小羊には七つの角と七つの目があった。この七つの目は、全地に遣わされている神の七つの霊である。7 小羊は進み出て、玉座に座っておられる方の右の手から、巻物を受け取った。8 巻物を受け取ったとき、うのを聞いた。
「玉座に座っておられる方と小羊と共に、賛美、誉れ、栄光、そして権力が、世々限りなくありますように。」
14 四つの生き物は「アーメン」と言い、長老たちはひれ伏して礼拝した。

六つの封印が開かれる

6 1 また、わたしが見ていると、小羊が七つの封印の一つを開いた。すると、四つの生き物の一つが、雷のような声で「出て来い」と言うのを、わたしは聞いた。2 そして見てみると、見よ、白い馬が現れ、乗っている者は、弓を持っていた。彼は冠を与えられ、勝利の上に更に勝利を得ようとして出て行った。3 小羊が第二の封印を開いたとき、第二の生き物が「出て来い」と言うのを、わたしは聞いた。4 すると、火のように赤い別の馬が現れた。その馬に乗っている者には、地上から平和を奪い取って、殺し合いをさせる力が与えられた。また、この者には大きな剣が与えられた。

5 小羊が第三の封印を開いたとき、第三の生き物が「出て来い」と言うのを、わたしは聞いた。そして見てみると、見よ、黒い馬が現れ、乗っている者は、手に

四つの生き物と二十四人の長老は、おのおの、堅琴と、香のいっぱい入った金の鉢とを手にとって、小羊の前にひれ伏した。この香は聖なる者たちの祈りである。9 そして、彼らは新しい歌をうたった。

「あなたは、巻物を受け取り、その封印を開くのにふさわしい方です。」

あなたは、屠られて、あらゆる種族と言葉の違う民、あらゆる民族と国民の中から、御自分の血で、神のために人々を贖われ、10 彼らをわたしたちの神に仕える王、

また、祭司となさったからです。

彼らは地上を統治します。」

11 また、わたしは見た。そして、玉座と生き物と長老たちとの周りに、多くの天使の声を聞いた。その数は万の数万倍、千の数千倍であった。12 天使たちは大声でこう言った。

「屠られた小羊は、力、富、知恵、威力、誉れ、栄光、そして賛美を受け取るにふさわしい方です。」

13 また、わたしは、天と地と地の下と海に在るすべての被造物、そして、そこに在るあらゆるものがこう言

稱を持つていた。6 わたしは、四つの生き物の間から出る声のようなものが、こう言うのを聞いた。「小麦は一コイニクスで一デナリオン。大麦は三コイニクスで一デナリオン。オリブ油とぶどう酒とを損なうな。」7 小羊が第四の封印を開いたとき、「出て来い」と言う第四の生き物の声を、わたしは聞いた。8 そして見てみると、見よ、青白い馬が現れ、乗っている者の名は「死」とい、これに陰府が從っていた。彼らには、地上の四分の一を支配し、剣と飢饉と死をもって、更に地上の野獣と人を滅ぼす権威が与えられた。9 小羊が第五の封印を開いたとき、神の言葉と自分たちがたてた証しのために殺された人々の魂を、わたしは祭壇の下に見た。10 彼らは大声でこう叫んだ。「真実で聖なる主よ、いつまで裁きを行わず、地に住む者にわたしたちの血の復讐をなさらないのですか。」11 すると、その一人一人に、白い衣が与えられ、また、自分たちと同じように殺されようとしている兄弟であり、仲間、僕である者たちの数が満ちるまで、なおしばらく静かに待つようにと告げられた。

12 また、見てみると、小羊が第六の封印を開いた。そのとき、大地震が起きて、太陽は毛の粗い布地のようになり、月は全体が血のようになって、13 天の星は地上に落ちた。まるで、いちじくの青い実が、大

風に揺さぶられて振り落とされるようだった。14天は巻物が巻き取られるように消え去り、山も島も、みなその場所から移された。15地上の王、高官、千人隊長、富める者、力ある者、また、奴隷も自由な身分の者もことごとく、洞穴や山の岩間に隠れ、16山と岩に向かつて、「わたしたちの上に覆いかぶさって、玉座に座っておられる方の顔と小羊の怒りから、わたしたちをかくまってくれ」と言った。17神と小羊の怒りの大いなる日が来たからである。だれがそれに耐えられるであろうか。

刻印を押されたイスラエルの子ら

7 1 この後、わたしは大地の四隅に四人の天使が立っているのを見た。彼らは、大地の四隅から吹く風をしっかりと押さえて、大地にも海にも、どんな木にも吹きつけられないようにしていた。2 わたしはまた、もう一人の天使が生ける神の刻印を持って、太陽の出る方角から上って来るのを見た。この天使は、大地と海とを損なうことを許されている四人の天使に、大声で呼びかけて、3 こう言った。「我々が、神の僕たちの額に刻印を押してしまいうまでは、大地も海も木も損なってはならない。」4 わたしは、刻印を押された人々の数を聞いた。それは十四万四千人で、イスラエ

ルの子らの全部族の中から、刻印を押されていた。5 ユダ族の中から一万二千人が刻印を押され、6 アシメ族の中から一万二千人、7 シメオン族の中から一万二千人、8 ゼブルン族の中から一万二千人、9 ヨセフ族の中から一万二千人、10 ベニヤミン族の中から一万二千人が刻印を押された。

白い衣を着た大群衆

9 この後、わたしが見ていると、見よ、あらゆる国民、種族、民族、言葉の違う民の中から集まった、だれにも数えきれないほどの大群衆が、白い衣を身に着け、手になつめやしの枝を持ち、玉座の前と小羊の前に立って、10 大声でこう叫んだ。

「救いは、玉座に座っておられるわたしたちの神と、小羊とのものである。」

ぬぐわれるからである。」

第七の封印が開かれる

11 また、天使たちは皆、玉座、長老たち、そして四つの生き物を囲んで立っていたが、玉座の前にひれ伏し、神を礼拝して、12 こう言った。

「アーメン。賛美、栄光、知恵、感謝、

誉れ、力、威力が、

世々限りなくわたしたちの神にありますように、

アーメン。」

13 すると、長老の一人がわたしに問いかけた。「この白い衣を着た者たちは、だれか。また、どこから来たのか。」14 そこで、わたしが、「わたしの主よ、それはあなたの方がご存じです」と答えると、長老はまた、わたしに言った。「彼らは大きな苦難を通して来た者で、その衣を小羊の血で洗って白くしたのである。」

15 それゆえ、彼らは神の玉座の前にいて、

昼も夜もその神殿で神に仕える。

玉座に座っておられる方が、

この者たちの上に幕屋を張る。

16 彼らは、もはや飢えることも渴くこともなく、

太陽も、どのような暑さも、

彼らを襲うことはない。

17 玉座の中央におられる小羊が彼らの牧者となり、

命の水の泉へ導き、

神が彼らの目から涙をことごとく

1 小羊が第七の封印を開いたとき、天は半時間ほど沈黙に包まれた。2 そして、わたしは七人の天使が神の御前に立っているのを見た。彼らには七つのラッパが与えられた。

天使のラッパと災い

6 さて、七つのラッパを持っている七人の天使たちが、ラッパを吹く用意をした。

7 第一の天使がラッパを吹いた。すると、血の混

じった雹と火とが生じ、地上に投げ入れられた。地

上の三分の一が焼け、木々の三分の一が焼け、すべて

の青草も焼けてしまった。

の火を満たして地上へ投げつけると、雷、さまざま

な音、稲妻、地震が起こった。

12 第一の災いが過ぎ去った。見よ、この後、更に二つの災いがやって来る。

13 第六の天使がラッパを吹いた。すると、神の御前にある金の祭壇の四本の角から一つの声が聞こえた。14 その声は、ラッパを持っている第六の天使に向かってこう言った。「大きな川、ユーフラテスのほとりにながれている四人の天使を放してやれ。」15 四人の天使は、人間の三分の一を殺すために解き放された。この天使たちは、その年、その月、その日、その時間のために用意されていたのである。16 その騎兵の数は二億、わたしはその数を聞いた。17 わたしは幻の中で馬とそれに乗っている者たちを見たが、その様子はこうであった。彼らは、炎、紫、および硫黄の色の胸当てを着けており、馬の頭は獅子の頭のように、口からは火と煙と硫黄とを吐いていた。18 その口から吐く火と煙と硫黄、この三分の一の災いで人間の三分の一が殺された。19 馬の力は口と尾にあつて、尾は蛇に似て頭があり、この頭で害を加えるのである。

20 これらの災いに遭っても殺されずに残った人間は、自分の手で造ったものについて悔い改めず、なおも、悪霊どもや、金、銀、銅、石、木それぞれで造った偶像を礼拝することをやめなかった。このような偶像是、見ることも、聞くことも、歩くこともできない

8 第二の天使がラッパを吹いた。すると、火で燃えている大きな山のようなものが、海に投げ入れられた。海の三分の一が血に変わり、9 また、被造物で海に住む生き物の三分の一は死に、船という船の三分の一が壊された。

10 第三の天使がラッパを吹いた。すると、松明のように燃えている大きな星が、天から落ちて来て、川という川の三分の一と、その水源の上に落ちた。11 この星の名は「苦よもぎ」といい、水の三分の一が苦よもぎのように苦くなって、そのために多くの人が死んだ。

12 第四の天使がラッパを吹いた。すると、太陽の三分の一、月の三分の一、星という星の三分の一が損なわれたので、それぞれ三分の一が暗くなって、昼はその光の三分の一を失い、夜も同じようになった。

13 また、見ていると、一羽の鷲が空高く飛びながら、大声でこう言うのが聞こえた。「不幸だ、不幸だ、不幸だ、地上に住む者たち。なお三人の天使が吹こうとしているラッパの響きのゆえに。」

9 1 第五の天使がラッパを吹いた。すると、一つの星が天から地上へ落ちて来るのが見えた。この星に、底なしの淵に通じる穴を開く鍵が与えられ、2 それが底なしの淵の穴を開くと、大きなかまどから

出るような煙が穴から立ち上り、太陽も空も穴からの煙のために暗くなった。3 そして、煙の中から、いながの群れが地上へ出て来た。このいながには、地に住むさそりが持っているような力が与えられた。4 いながは、地の草やどんな青物も、またどんな木も損なうてはならないが、ただ、額に神の刻印を押されていない人には害を加えてもよい、と言いつ渡された。5 殺してはいけないが、五か月の間、苦しめることは許されたのである。いながが与える苦痛は、さそりが人を刺したときの苦痛のようであった。6 この人々は、その期間、死にたいと思っても死ぬことができず、切に死を望んでも、死の方が逃げて行く。

7 さて、いながの姿は、出陣の用意を整えた馬に似て、頭には金の冠に似たものを着け、顔は人間の顔のようであった。8 また、髪は女の髪のように、歯は獅子の歯のようであった。9 また、胸には鉄の胸当てのようなものを着け、その羽の音は、多くの馬に引かれて戦場に急ぐ戦車の響きのようであった。10 更に、さそりのように、尾と針があつて、この尾には、五か月の間、人に害を加える力があつた。11 いながは、底なしの淵の使いを王としていたにいたっている。その名は、アポロライオンという。

10 1 天使が小さな巻物を渡す

1 わたしはまた、もう一人の力強い天使が、雲を身にまとい、天から降って来るのを見た。頭には虹をいただし、顔は太陽のようで、足は火の柱のようであり、2 手には開いた小さな巻物を持っていた。そして、右足で海を、左足で地を踏まえて、3 獅子がほえるような大声で叫んだ。天使が叫んだとき、七つの雷がそれぞれの声で語った。4 七つの雷が語ったとき、わたしは書き留めようとした。すると、天から声があつて、「七つの雷が語ったことは秘めておけ。それを書き留めてはいけない」と言うのが聞こえた。5 すると、海と地の上に立つのをわたしが見た

あ、天使が、
右手を天に上げ、
6 世々限りなく生きておられる方にかけて誓った。
すなわち、天とそこの中にあるもの、地とそこの中にあるもの、海とそこの中にあるものを創造された方にかけてこう誓った。「もはや時がない。第七の天使がラッパを吹くとき、神の秘められた計画が成就する。それは、神が御自分の僕である預言者たちに良い知らせと

第七の天使がラッパを吹く
 15 さて、第七の天使がラッパを吹いた。すると、天にさまざまな大声があつて、こう言つた。
 「この世の国は、我らの主と、そのメシアのものとなった。
 主は世々限りなく統治される。」
 16 神の御前で、座に着いていた二十四人の長老は、ひれ伏して神を礼拝し、17 こう言つた。
 「今おられ、かつておられた方、全能者である神、主よ、感謝いたします。大いなる力を振るつて統治されたからです。
 18 異邦人たちは怒り狂い、あなたも怒りを現された。死者の裁かれる時が来ました。あなたの僕、預言者、聖なる者、御名を畏れる者には、

して告げられたとおりである。」
 8 すると、天から聞こえたあの声が、再びわたしに語りかけて、こう言つた。「さあ行って、海と地の上に立っている天使の手にある、開かれた巻物を受け取れ。」
 9 そこで、天使のところへ行き、「その小さな巻物をください」と言つた。すると、天使はわたしに言つた。「受け取つて、食べてしまえ。それは、あなたの腹には苦いが、口には蜜のように甘い。」
 10 わたしは、その小さな巻物を天使の手から受け取つて、食べてしまった。それは、口には蜜のように甘かつたが、食べると、わたしの腹は苦くなった。
 11 すると、わたしにこう語りかける声が聞こえた。「あなたは、多くの民族、国民、言葉の違う民、また、王たちについて、再び預言しなければならぬ。」

二人の証人

11 それから、わたしは杖のような物差しを与えられて、こう告げられた。「立つて神の神殿と祭壇とを測り、また、そこで礼拝している者たちを救えよ。」
 2 しかし、神殿の外の庭はそのままにしておけ。測つてはいけない。そこは異邦人に与えられたからである。彼らは、四十二か月の間、この聖なる都を踏みこむのである。わたしは、自分の二人の証人に頼

のを聞いた。そして雲に乗つて天に上つた。彼らの敵もそれを見た。
 13 そのとき、大地震が起こり、都の十分の一が倒れ、この地震のために七千人が死に、残った人々は恐れを抱いて天の神の栄光をたたえた。
 14 第二の災いが過ぎ去つた。見よ、第三の災いが速やかにやってくる。

小さな者にも大きな者にも報いをお与えになり、地を滅ぼす者どもを滅ぼされる時が来ました。
 19 そして、天にある神の神殿が開かれて、その神殿の中にある契約の箱が見え、稲妻、さまざまな音、雷、地震が起こり、大粒の雹が降つた。

女と竜

12 1 また、天に大きなしるしが現れた。一人の女が身に太陽をまとい、月を足の下にし、頭には十二の星の冠をかぶつていた。
 2 女は身ごもつていたが、子を産む痛みと苦しみのため叫んでいた。
 3 また、もう一つのしるしが天に現れた。見よ、火のよう

布をまとわせ、千二百六十日の間、預言させよう。
 4 この二人の証人とは、地上の主の御前に立つ二本のオリブの木、また二つの燭台である。
 5 この二人に害を加えようとする者があれば、彼らの口から火が出て、その敵を滅ぼすであろう。この二人に害を加えようとする者があれば、必ずこのように殺される。
 6 彼らには、預言をしている間ずっと雨が降らないように天を閉じる力がある。また、水を血に変える力があつて、望みのままに何度でも、あらゆる災いを地に及ぼすことができる。
 7 二人がその証しを終えようと、一匹の獣が、底なしの淵から上つて来て彼らと戦つて勝ち、二人を殺してしまふ。
 8 彼らの死体は、たとえてソドムとかエジプトとか呼ばれる大きな都の大通りに取り残される。この二人の証人の主も、その都で十字架につけられたのである。
 9 さまたまの民族、種族、言葉の違う民、国民に属する人々は、三日半の間、彼らの死体を眺め、それを墓に葬ることは許さないであろう。
 10 地上の人々は、彼らのことで大いに喜び、贈り物を取り取りするであらう。この二人の預言者は、地上の人々を苦しめたからである。
 11 三日半たつて、命の息が神から出て、この二人に入つた。彼らが立ち上がり、これを見た人々は大いに恐れた。
 12 二人は、天から大きな声があつて、「ここに上つて来い」と言う

逃げ込んだ。そこには、この女が千二百六十日の間

と王座と大きな權威とを与えた。3 この獸の頭の一つが傷つけられて、死んだと思われたが、この致命的な傷も治ってしまった。そこで、全地は驚いてこの獸に服従した。4 竜が自分の權威をこの獸に与えたので、人々は竜を拝んだ。人々はまた、この獸をも拝んで言う言った。「だが、この獸と戦うことができようか。だが、この獸と戦うことができようか。」

5 この獸にはまた、大言と冒瀆の言葉を吐く口が与えられ、四十二か月の間、活動する權威が与えられた。6 そこで、獸は口を開いて神を冒瀆し、神の名と神の幕屋、天に住む者たちを冒瀆した。7 獸は聖なる者たちと戦い、これに勝つことが許され、また、あらゆる種族、民族、言葉の違う民、国民を支配する權威が与えられた。8 地上に住む者で、天地創造の時から、屠られた小羊の命の書にその名が記されていない者たちは皆、この獸を拝むであらう。

9 耳ある者は、聞け。
10 捕らわれるべき者は、捕らわれて行く。
11 剣で殺されるべき者は、剣で殺される。

ここに、聖なる者たちの忍耐と信仰が必要である。
11 わたしはまた、もう一匹の獸が地中から上って来

るのを見た。この獸は、小羊の角に似た二本の角があつて、竜のようにものを言っていた。12 この獸は、先の獸が持っていたすべての權力をその獸の前で振るい、地とそこに住む人々に、致命的な傷が治ったあの先の獸を拜ませた。13 そして、大きなしるしを行って、人々の前で天から地上へ火を降らせた。14 更に、先の獸の前で行うことを許されたしるしによって、地上に住む人々を惑わせ、また、剣で傷を負ったがなお生きている先の獸の像を造るよう、地上に住む人に命じた。15 第二の獸は、獸の像に息を吹き込むことを許されて、獸の像がものを言うことさえできるようにした。獸の像を拜もうとしない者があれば、皆殺しにされた。16 また、小さな者にも大きな者にも、富める者にも貧しい者にも、自由な身分の者にも奴隷にも、すべての者にその右手か額に刻印を押させた。17 そこで、この刻印のある者でなければ、物を買うことも、売ることさえできないようになった。この刻印とはあの獸の名、あるいはその名の数字である。18 ここに知恵が必要である。賢い人は、獸の数字にどのような意味があるかを考えるがよい。数字は人間を指している。そして、数字は六百六十六である。

養われるように、神の用意された場所があつた。

7 さて、天で戦いが起こった。ミカエルとその使いたちが、竜に戦いを挑んだのである。竜とその使いたちも応戦したが、8 勝てなかった。そして、もはや天には彼らの居場所がなくなった。9 この巨大な竜、年を経た蛇、悪魔とかサタンとか呼ばれるもの、全人類を惑わす者は、投げ落とされた。地上に投げ落とされたのである。その使いたちも、もろともに投げ落とされた。10 わたしは、天で大きな声が次のように言うのを聞いた。

「や、我々の神の救いと力と支配が現れた。神のメシアの權威が現れた。我々の兄弟たちを告発する者、昼も夜も我々の神の御前で彼らを告発する者が、投げ落とされたからである。」

11 兄弟たちは、小羊の血と自分たちの証しの言葉とで、彼に打ち勝った。

12 彼らは、死に至るまで命を惜しまなかった。そのゆえに、もろもろの天と、その中に住む者たちよ、喜べ。地と海とは不幸である。悪魔は怒りに燃えて、

お前たちのところへ降って行った。

残された時が少ないのを知ったからである。」

13 竜は、自分が地上へ投げ落とされたと分かると、男の子を産んだ女の後を追った。14 しかし、女には大きな驚の翼が二つ与えられた。荒れ野にある自分の場所へ飛んで行くためである。女はここで、蛇から逃れて、一年、その後二年、またその後半年の間、養われることになつていった。15 蛇は、口から川のように水を女の後ろに吐き出して、女を押し流そうとした。16 しかし、大地は女を助け、口を開けて、竜が口から吐き出した川を飲み干した。17 竜は女に対して激しく怒り、その子孫の残りの者たち、すなわち、神の掟を守り、イエスの証しを守りとおしている者たちと戦おうとして出て行った。18 そして、竜は海辺の砂の上に立った。

二匹の獸

1 わたしはまた、一匹の獸が海の中から上つて来るのを見た。これには十本の角と七つの頭があつた。それらの角には十の王冠があり、頭には神を冒瀆するさまざまな名が記されていた。2 わたしが見たこの獸は、豹に似ており、足は熊の足のようで、口は獅子の口のようにであった。竜はこの獸に、自分の力

十四万四千人の歌

14 1 また、わたしが見ていると、見よ、小羊がシ
 オンの山に立っており、小羊と共に十四万四千
 人の者たちがいて、その額には小羊の名と、小羊の父
 の名とが記されていた。2 わたしは、大水のとどろく
 ような音、また激しい雷のような音が天から響くの
 を聞いた。わたしが聞いたその音は、琴を弾く者たち
 が堅琴を弾いているようであった。3 彼らは、玉座の
 前、また四つの生き物と長老たちの前で、新しい歌の
 たぐいをうたった。この歌は、地上から贖われた十四
 万四千人の者たちのほかは、覚えることができなかった。
 4 彼らは、女に触れて身を汚したことのない者で
 ある。彼らは童貞だからである。この者たちは、小羊
 の行くところへは、どこへでも従って行く。この者た
 ちは、神と小羊に献げられる初穂として、人々の中か
 ら贖われた者たちで、5 その口には偽りがなく、とが
 められるところのない者たちである。

三人の天使の言葉

6 わたしはまた、別の天使が空高く飛ぶのを見た。
 この天使は、地上に住む人々、あらゆる国民、種族、
 言葉の違う民、民族に告げ知らせるために、永遠の福
 音を携えて来て、7 大声で言った。「神を畏れ、その榮

て、人の子のような方がその雲の上に座っており、頭
 には金の冠をかぶり、手には鋭い鎌を持っておられ
 た。15すると、別の天使が神殿から出て来て、雲の上
 に座っておられる方に向かって大声で叫んだ。「鎌を
 入れて、刈り取ってください。刈り入れの時が来まし
 た。地上の穀物は実っています。16そこで、雲の上
 に座っておられる方が、地に鎌を投げると、地上では
 刈り入れが行われた。

17 また、別の天使が天にある神殿から出て来たが、
 この天使も手に鋭い鎌を持っていた。18すると、祭壇
 のところから、火をつかさどる権威を持つ別の天使が
 出て来て、鋭い鎌を持つ天使に大声でこう言った。「そ
 の鋭い鎌を入れて、地上のぶどうの房を取り入れよ。
 ぶどうの実には既に熟している。」19そこで、その天使
 は、地に鎌を投げ入れて地上のぶどうを取り入れ、こ
 れを神の怒りの大きな搾り桶に投げ入れた。20搾り桶
 は、都の外で踏まれた。すると、血が搾り桶から流れ
 出て、馬のくつわに届くほどになり、千六百スタディ
 オンにわたって広がった。

最後の七つの災い

15 1 わたしはまた、天にもう一つの大きな驚くべ
 きしるしを見た。七人の天使が最後の七つの災

光をたたえなさい。神の裁きの時が来たからである。
 天と地、海と水の源を創造した方を礼拝しなさい。」
 8 また、別の第二の天使が続いて来て、こう言った。
 「倒れた。大バビロンが倒れた。怒りを招くみだらな
 行いのぶどう酒を、諸国の民に飲ませたこの都が。」
 9 また、別の第三の天使も続いて来て、大声でこう
 言った。「だれでも、獣とその像を拝み、額や手にこの
 獣の刻印を受ける者があれば、10 その者自身も、神の
 怒りの杯に混ぜものなしに注がれた、神の怒りのぶ
 どう酒を飲むことになり、また、聖なる天使たちと小
 羊の前で、火と硫黄で苦しめられることになる。11 そ
 の苦しみの煙は、世々限りなく立ち上り、獣とその像
 を拝む者たち、また、だれでも獣の名の刻印を受ける
 者は、昼も夜も安らぐことはない。」12ここに、神の
 掟を守り、イエスに対する信仰を守り続ける聖なる者
 たちの忍耐が必要である。

鎌が地に投げ入れられる

14 また、わたしが見ていると、見よ、白い雲が現れ

いを携えていた。これらの災いで、神の怒りがその極
 みに達するのである。

2 わたしはまた、火が混じったガラスの海のような
 ものを見た。更に、獣に勝ち、その像に勝ち、またそ
 の名の数字に勝った者たちを見た。彼らは神の堅牢を
 手にして、このガラスの海の岸に立っていた。3 彼ら
 は、神の僕モーセの歌と小羊の歌をうたった。

全能者である神、主よ、

あなたの業は偉大で、
 驚くべきもの。

諸国の民の王よ、

あなたの道は正しく、また、真実なもの。

4 主よ、だれがあなたの名を畏れず、
 たたえずにおられましようか。

聖なる方は、あなただけ。
 すべての国民が、来て、

あなたの前にひれ伏すでしょう。

あなたに正しい裁きが、
 明らかにわたしたちからです。」

5 この後、わたしが見ていると、天にある証しの幕
 屋の神殿が開かれた。6 そして、この神殿から、七つ
 の災いを携えた七人の天使が出て来た。天使たちは、
 輝く清い亜麻布の衣を着て、胸に金の帯を締めてい

た。7そして、四つの生き物の中の一つが、世々限りなく生きておられる神の怒りが盛られた七つの金の鉢を、この七人の天使に渡した。8この神殿は、神の栄光とその力とから立ち上る煙で満たされ、七人の天使の七つの災いが終わるまでは、だれも神殿の中に入ることができなかった。

神の怒りを盛った七つの鉢

16 1 また、わたしは大きな声が神殿から出て、七人の天使にこう言うのを聞いた。「行って、七つの鉢に盛られた神の怒りを地上に注ぎなさい。」
2 そこで、第一の天使が出て行って、その鉢の中身を地上に注ぐと、獣の刻印を押されている人間たち、また、獣の像を礼拝する者たちに悪性のはれ物ができた。

3 第二の天使が、その鉢の中身を海に注ぐと、海は死人の血のようになって、その中の生き物はすべて死んでしまった。

4 第三の天使が、その鉢の中身を川と水の源に注ぐと、水は血になった。5 そのとき、わたしは水をつかさどる天使がこう言うのを聞いた。

「今おられ、かつておられた聖なる方、あなたは正しい方です。」

るしを行う悪霊どもの霊であって、全世界の王たちのところへ出て行った。それは、全能者である神の大きな日の戦いに備えて、彼らを集めるためである。
15 見よ、わたしは盗人のように来る。裸で歩くのを見られて恥をかかないように、目を覚まし、衣を身に着けている人は幸いである。——16 汚れた霊どもは、ヘブライ語で「ハルマゲドン」と呼ばれる所に、王たちを集めた。

17 第七の天使が、その鉢の中身を空中に注ぐと、神殿の玉座から大声が聞こえ、「事は成就した」と言った。18そして、稲妻、さまざまな音、雷が起こり、また、大きな地震が起きた。それは、人間が地上に現れて以来、いまだかつてなかったほどの大地震であった。19あの大きな都が三つに引き裂かれ、諸国の民の方々の町が倒れた。神は大バビロンを思い出して、御自分の激しい怒りのぶどう酒の杯をこれにお与えになった。20すべての島は逃げ去り、山々も消えうせた。21一タラントンの重さほどの大粒の雹が、天から人々の上に降った。人々は雹の害を受けたので、神を冒瀆した。その被害があまりにも甚だしかったからであ

このような裁きをしてくださったからです。

6 この者どもは、聖なる者たちと

預言者たちとの血を流しましたが、あなたは彼らに血をお飲ませになりました。それは当然なことです。」

7 わたしはまた、祭壇がこう言うのを聞いた。

「然り、全能者である神、主よ、

あなたの裁きは真実で正しい。」

8 第四の天使が、その鉢の中身を太陽に注ぐと、太陽は人間を火で焼くことを許された。9 人間は、激しい熱で焼かれ、この災いを支配する権威を持つ神の名を冒瀆した。そして、悔い改めて神の栄光をたたえることをしなかった。

10 第五の天使が、その鉢の中身を獣の王座に注ぐと、獣が支配する国は闇に覆われた。人々は苦しみをだえて自分の舌をかみ、11 苦痛とはれ物のゆえに天の神を冒瀆し、その行いを悔い改めようとはしなかった。

12 第六の天使が、その鉢の中身を大きな川、ユーフラテスに注ぐと、川の水が干涸び、日の出る方角から来る王たちの道ができた。13 わたしはまた、竜の口から、獣の口から、そして、偽預言者の口から、蛙の口から、汚れた三つの霊が出て来るのを見た。14 これはし

大淫婦が裁かれる

17 1 さて、七つの鉢を持つ七人の天使の一人が来るの水上に座している大淫婦に對する裁きを見せよう。2 地上の王たちは、この女とみだらなことをし、地上に住む人々は、この女のみだらな行いのぶどう酒に酔ってしまった。3 そして、この天使は「霊に満たされたわたしを荒野に連れて行った。わたしは、赤い獣にまたがっている一人の女を見た。この獣は、全身至るところ神を冒瀆する数々の名で覆われており、七つの頭と十本の角があった。4 女は紫と赤の衣を着て、金と宝石と真珠で身を飾り、忌まわしいものや、自分のみだらな行いの汚れで満ちた金の杯を手持っていた。5 その額には、秘められた意味の名が記されていたが、それは、「大バビロン、みだらな女たちや、地上の忌まわしい者たちの母」という名である。6 わたしは、この女が聖なる者たちの血と、イエスの証人たちの血に酔いしれているのを見た。
この女を見て、わたしは大いに驚いた。7 すると、天使がわたしにこう言った。「なぜ驚くのか。わたしは、この女の秘められた意味と、女を乗せた獣、七つの頭と十本の角がある獣の秘められた意味とを知らせよう。8 あなたが見た獣は以前はいたが、今はいない。

4 わたしはまた、天から別の声がこう言うのを聞いた。
 「わたしの民よ、彼女から離れ去れ。
 その罪に加わったり、
 その災いに巻き込まれたりしないようにせよ。
 5 彼女の罪は積み重なって天にまで届き、
 神はその不義を覚えておられるからである。
 6 彼女がしたとおりに、
 彼女に仕返しせよ、
 彼女の仕業に応じ、倍にして返せ。
 彼女が注いだ杯に、
 その倍も注いでやれ。
 7 彼女がおごり高ぶって、
 ぜいたくに暮らしていたのと、
 同じだけの苦しみと悲しみを、
 彼女に与えよ。
 彼女が心の中でこう言っているからである。
 『わたしは、女王の座に着いており、
 やめなどではない。
 決して悲しい目に遭いはしない。』
 8 それゆえ、一日のうちに、さまざまな災いが、
 死と悲しみと飢えとが彼女を襲う。
 また、彼女は火で焼かれる。

彼女を裁く神は、
 力ある主だからである。
 9 彼女とみだらなことをし、ぜいたくに暮らした地上の王たちは、彼女が焼かれる煙を見て、そのために泣き悲しみ、
 10 彼女の苦しみを見て恐れ、遠くに立つてこう言う。
 「不幸だ、不幸だ、大いなる都、
 強大な都バビロン、
 お前は、ひとときの間に裁かれた。」
 11 地上の商人たちは、彼女のために泣き悲しむ。もはやだれも彼らの商品を買う者がいないからである。
 12 その商品とは、金、銀、宝石、真珠、麻の布、紫の布、絹地、赤い布、あらゆる香ばしい木と象牙細工、そして、高価な木材や、青銅、鉄、大理石などでできたあらゆる器、
 13 肉桂、香料、香、香油、乳香、ぶどう酒、オリブ油、麦粉、小麦、家畜、羊、馬、馬車、奴隸、人間である。
 14 お前の望んでやまない果物は、
 お前から遠のいて行き、
 華美な物、きらびやかな物はみな、
 お前のところから消えうせて、
 もはや決して見られない。
 15 このような商品を扱って、彼女から富を得ていた

やがて底なしの淵から上って来るが、ついには滅びてしまう。地上に住む者で、天地創造の時から命の書にその名が記されていない者たちは、以前いて今はいないこの獣が、やがて来るのを見て驚くであろう。9 ここに、知恵のある考えが必要である。七つの頭とは、この女が座っている七つの丘のことである。そして、ここに七人の王がいる。10 五人は既に倒れたが、一人は今王の位についている。他の一人は、まだ現れていないが、この王が現れても、位にとどまるのはごく短い期間だけである。11 以前いて、今はいない獣は、第八の者で、またそれは先の七人の中の一人なのだが、やがて滅びる。12 また、あなたが見た十本の角は、十人の王である。彼らはまだ国を治めていないが、ひとときの間、獣と共に王の権威を受けるであろう。13 この者どもは、心一つにしており、自分たちの力と権威を獣にゆだねる。14 この者どもは小羊と戦うが、小羊は主の主、王の王だから、彼らに打ち勝つ。小羊と共にいる者、召された者、選ばれた者、忠実な者たちもまた、勝利を収める。」
 15 天使はまた、わたしに言った。「あなたが見た水の淫婦が座っている所は、さまざまな民族、群衆、国民、言葉の違う民である。16 また、あなたが見た十本の角とあの獣は、この淫婦を憎み、身に着けた物を

はぎ取って裸にし、その肉を食い、火で焼き尽くすであらう。17 神の言葉が成就するときまで、神は彼らの心を動かして御心を行わせ、彼らが心一つにして、自分たちの支配権を獣に与えるようにされたからである。18 あなたが見た女とは、地上の王たちを支配しているあの大きな都のことである。」
 バビロンの滅亡
 18 1 その後、わたしは、大きな権威を持っている別の天使が、天から降って来るのを見た。地上はその栄光によって輝いた。2 天使は力強い声で叫んだ。
 「倒れた。大バビロンが倒れた。
 そして、そこは悪霊どもの住みか、
 あらゆる汚れた霊の巢窟、
 あらゆる汚れた鳥の巢窟、
 あらゆる汚れた忌まわしい獣の巢窟となった。
 3 すべての国の民は、
 怒りを招く彼女のみだらな行いのぶどう酒を飲み、
 地上の王たちは、彼女とみだらなことをし、
 地上の商人たちは、
 彼女の豪華なぜいたくによって
 富を築いたからである。」

19 1 その後、わたしは、大群衆の大声のようなものが、天でこう言うのを聞いた。
 「ハレルヤ。
 救いと栄光と力とは、わたしたちの神のもの。
 2 その裁きは真実で正しいからである。
 みだらな行いで
 地上を墮落させたあの淫婦を裁き、
 御自分の僕たちの流した血の復讐を、
 彼女になさったからである。」
 3 また、こうも言った。
 「ハレルヤ。
 4 淫婦が焼かれる煙は、世々限りなく立ち上る。」
 5 そこで、二十四人の長老と四つの生き物とはひれ伏して、玉座に座っておられる神を礼拝して言った。
 「アーメン、ハレルヤ。」
 6 わたしたちの神をたたえよ。」
 7 わたしはまた、大群衆の声のようなもの、多くの水

小羊の婚宴

8 花嫁は、輝く清い麻の衣を着せられた。
 この麻の衣とは、
 聖なる者たちの正しい行いである。」
 9 それから天使はわたしに、「書き記せ。小羊の婚宴に招かれている者たちは幸いだ」と言い、また、「これは、神の真実の言葉である」とも言った。10 わたしは天使を拝もうとしてその足もとにひれ伏した。すると、天使はわたしにこう言った。「やめよ。わたしは、あなたやイエスの証しを守っているあなたの兄弟たちと共に、仕える者である。神を礼拝せよ。イエスの証しは預言の霊なのだ。」
 11 そして、わたしは天が開かれているのを見た。す

白馬の騎手

商人たちは、彼女の苦しみをみて恐れ、遠くに立つて、泣き悲しんで、16 こう言う。
 「不幸だ、不幸だ、大いなる都、
 麻の布、また、紫の布や赤い布をまとい、
 金と宝石と真珠の飾り着けた都。
 17 あれほどの富が、ひとときの間に、
 みな荒れ果ててしまうとは。」
 また、すべての船長、沿岸を航海するすべての者、
 船乗りたち、海で働いているすべての者たちは、遠くに立ち、18 彼女が焼かれる煙を見て、「これほど大きい都がほかにあったらどうか」と叫んだ。19 彼らは頭に塵をかぶり、泣き悲しんで、こう叫んだ。
 「不幸だ、不幸だ、大いなる都、
 海に船を持つ者が皆、
 この都で、高価な物を取り引きし、
 豊かになったのに、
 ひとときの間に荒れ果ててしまうとは。」
 20 天よ、この都のゆえに喜べ。
 聖なる者たち、使徒たち、預言者たちよ、喜べ。
 神は、あなたがたのために
 この都を裁かれたからである。
 21 すると、ある力強い天使が、大きいひき臼のような石を取り上げ、それを海に投げ込んで、こう言った。

「大いなる都、バビロンは、
 このように荒々しく投げ出され、
 もはや決して見られない。
 22 堅琴を弾く者の奏でる音、歌をうたう者の声、
 笛を吹く者やラッパを鳴らす者の樂の音は、
 もはや決してお前のうちには聞かれぬ。
 あらゆる技術を身につけた者たちもだれ一人、
 もはや決してお前のうちには見られない。
 ひき臼の音もまた、
 23 ともし火の明かりも、
 もはや決してお前のうちには聞かれぬ。
 花婿や花嫁の声も、
 もはや決してお前のうちには聞かれぬ。
 なぜなら、お前の商人たちが
 地上の権力者となったからであり、
 また、お前の魔術によって
 24 すべての国の民が惑わされ、
 預言者たちと聖なる者たちの血、
 地上で殺されたすべての者の血が、
 この都で流されたからである。」

最後の裁き
11 わたしはまた、大きな白い玉座と、そこに座っておられる方とを見た。天も地も、その御前から逃げて行き、行方が分からなくなった。12 わたしはまた、死

と、見よ、白い馬が現れた。それに乗っている方は、「誠実」および「真実」と呼ばれて、正義をもって裁き、また戦われる。12 その目は燃え盛る炎のようで、頭には多くの王冠があった。この方には、自分のほかはだれも知らない名が記されていた。13 また、血に染まった衣を身にまとい、その名は「神の言葉」と呼ばれた。14 そして、天の軍勢が白い馬に乗り、白く清い麻の布をまとってこの方に従っていた。15 この方の口からは、鋭い剣が出ている。諸国の民をそれで打ち倒すのである。また、自ら鉄の杖で彼らを治める。この方はぶどう酒の搾り桶を踏むが、これには全能者である神の激しい怒りが込められている。16 この方の衣と腿のあたりには、「王の王、主の主」という名が記されていた。

17 わたしはまた、一人の天使が太陽の中に立っているのを見た。この天使は、大声で叫び、空高く飛んでいるすべての鳥にこう言った。「さあ、神の大宴会に集まれ。18 王の肉、千人隊長の肉、権力者の肉を食べよ。また、馬とそれに乗る者の肉、あらゆる自由な身分の者、奴隷、小さな者や大きな者たちの肉を食べよ。19 わたしはまた、あの獣と、地上の王たちとその軍勢とが、馬に乗っている方とその軍勢に対して戦うために、集まっているのを見た。20 しかし、獣は捕

サタン
7 この千年が終わると、サタンはその牢から解放され、8 地上の四方にいる諸国の民、ゴグとマゴグを感

わそうとして出て行き、彼らを集めて戦わせようとする。その数は海の砂のように多い。9 彼らは地上の広い場所に攻め上って行って、聖なる者たちの陣営と、愛された都とを囲んだ。すると、天から火が下って来て、彼らを焼き尽くした。10 そして彼らを惑わした悪魔は、火と硫黄の池に投げ込まれた。そこにはあの獣と偽預言者がいる。そして、この者どもは昼も夜も世限りなく責めさいなまれる。

統治した。5 その他の死者は、千年たつまで生き返らなかった。これが第一の復活である。6 第一の復活にあずかる者は、幸いな者、聖なる者である。この者たちに対して、第二の死は何の力もない。彼らは神とキリストの祭司となつて、千年の間キリストと共に統治する。

17 わたしはまた、一人の天使が太陽の中に立っているのを見た。この天使は、大声で叫び、空高く飛んでいるすべての鳥にこう言った。「さあ、神の大宴会に集まれ。18 王の肉、千人隊長の肉、権力者の肉を食べよ。また、馬とそれに乗る者の肉、あらゆる自由な身分の者、奴隷、小さな者や大きな者たちの肉を食べよ。19 わたしはまた、あの獣と、地上の王たちとその軍勢とが、馬に乗っている方とその軍勢に対して戦うために、集まっているのを見た。20 しかし、獣は捕

らえられ、また、獣の前でしるしを行つた偽預言者も、一緒に捕らえられた。このしるしによって、獣の刻印を受けた者や、獣の像を拝んでいた者どもは、惑わされていたのであつた。獣と偽預言者の両者は、生きたまは硫黄の燃えている火の池に投げ込まれた。21 残りの者どもは、馬に乗っている方の口から出ている剣で殺され、すべての鳥は、彼らの肉を飽きるほど食べた。

千年間の支配

20

1 わたしはまた、一人の天使が、底なしの淵の鍵と大きな鎖とを手にして、天から降ってくるのを見た。2 この天使は、悪魔でもサタンでもある、年を経たあの蛇、つまり竜を取り押さえ、千年の間縛っておき、3 底なしの淵に投げ入れ、鍵をかけ、その上に封印を施して、千年が終わるまで、もうそれ以上、諸国の民を惑わさないようにした。その後で、竜はしばらくの間、解放されるはずである。

4 わたしはまた、多くの座を見た。その上には座っている者たちがあり、彼らには裁くことが許されていた。わたしはまた、イエスの証しと神の言葉のために、首をはねられた者たちの魂を見た。この者たちは、あの獣もその像も拝まず、額や手に獣の刻印を受けなかった。彼らは生き返つて、キリストと共に千年の間

新しい天と新しい地

21

1 わたしはまた、新しい天と新しい地を見た。最初の天と最初の地は去って行き、もはや海もなくなつた。2 更にわたしは、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意を整えて、神のもとを離れ、天から下って来るのを見た。

3 そのとき、わたしは玉座から語りかける大きな声を聞いた。「見よ、神の幕屋が人の間にあって、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、4 彼らの目の涙をことごとくぬぐい取つてくださる。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。最初のものは過ぎ去つたからであ

珠でできていた。都の大通りは、透き通ったガラスのような純金であった。

22 わたしは、都の中に神殿を見なかった。全能者である神、主と小羊とが都の神殿だからである。23 この都には、それを照らす太陽も月も、必要でない。神の栄光が都を照らしており、小羊が都の明かりだからである。24 諸国の民は、都の光の中を歩き、地上の王たちは、自分たちの栄光を携えて、都に来る。25 都の門は、一日中決して閉ざされない。そこには夜がないからである。26 人々は、諸国の民の栄光と誉れとを携えて都に来る。27 しかし、汚れた者、忌まわしいことと偽りを行う者はだれ一人、決して都に入れない。小羊の命の書に名が書いてある者だけが入れられる。

22 1 天使はまた、神と小羊の玉座から流れ出て、水晶のように輝く命の水の川をわたしに見せた。2 川は、都の大通りの中央を流れ、その兩岸には命の木があって、年に十二回実を結び、毎月実をみらせる。そして、その木の葉は諸国の民の病を治す。3 もはや、呪われるものは何一つない。神と小羊の玉座が都にあって、神の僕たちは神を礼拝し、4 御顔を仰ぎ見る。彼らの額には、神の名が記されている。5 もはや、夜はなく、ともし火の光も太陽の光も要らない。神である主が僕たちを照らし、彼らは世々限り

る。

5 すると、玉座に座っておられる方が、「見よ、わたしは万物を新しくする」と言い、また、「書き記せ。これらの言葉は信頼でき、また真実である」と言われた。6 また、わたしに言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。初めてであり、終わりである。渴いている者には、命の水の泉から価なしに飲ませよう。7 勝利を得る者は、これらのものを受け継ぐ。わたしはその者の神になり、その者はわたしの子となる。8 しかし、おくびょうな者、不信仰な者、忌まわしい者、人を殺す者、みだらな行いをする者、魔術を使う者、偶像を拜む者、すべてうそを言う者、このような者たちに対する報いは、火と硫黄の燃える池である。それが、第二の死である。」

新しいエルサレム

9 さて、最後の七つの災いの満ちた七つの鉢を持つ七人の天使がいたが、その中の一人が来て、わたしに語りかけてこう言った。「ここへ来なさい。小羊の妻である花嫁を見せてあげよう。10 この天使が、霊に満たされたわたしを大きな高い山に連れて行き、聖なる都エルサレムが神のもとを離れて、天から下ってくるのを見せた。11 都は神の栄光に輝いていた。その

輝きは、最高の宝石のようであり、透き通った碧玉のようであった。12 都には、高い大きな城壁と十二の門があり、それらの門には十二人の天使がいて、名が刻みつけてあった。イスラエルの子らの十二部族の名であった。13 東に三つの門、北に三つの門、南に三つの門、西に三つの門があった。14 都の城壁には十二の土台があって、それには小羊の十二使徒の十二の名が刻みつけてあった。

15 わたしに語りかけた天使は、都とその門と城壁とを測るために、金の物差しを持っていた。16 この都は四角い形で、長さと幅が同じであった。天使が物差しで都を測ると、一万二千スタディオンあった。長さも幅も高さも同じである。17 また、城壁を測ると、百四十四ベキスであった。これは人間の物差しによって測ったもので、天使が用いたものもこれである。18 都の城壁は碧玉で築かれ、都は透き通ったガラスのような純金であった。19 都の城壁の土台石は、あらゆる宝石で飾られていた。第一の土台石は碧玉、第二はサファイア、第三はめのう、第四はエメラルド、20 第五は赤緋めのう、第六は赤めのう、第七はかんらん石、第八は緑柱石、第九は黄玉、第十はひすい、第十一は青玉、第十二は紫水晶であった。21 また、十二の門は十二の真珠であって、どの門もそれぞれ一個の真

なく統治するからである。

キリストの再臨

6 そして、天使はわたしにこう言った。「これらの言葉は、信頼でき、また真実である。預言者たちの靈感の神、主が、その天使を送って、すぐにも起こるはずのことを、御自分の僕たちに示されたのである。7 見よ、わたしはすぐに来る。この書物の預言の言葉を守る者は、幸いである。」

8 わたしは、これらのことを聞き、また見たヨハネである。聞き、また見たとき、わたしは、このことを示してくれた天使の足もとにひれ伏して、拝もうとした。9 すると、天使はわたしに言った。「やめよ。わたしは、あなたや、あなたの兄弟である預言者たちや、この書物の言葉を守っている人たちと共に、仕える者である。神を礼拝せよ。」10 また、わたしにこう言った。「この書物の預言の言葉を、秘密にしておいてはいけない。時が迫っているからである。11 不正を行う者には、なお不正を行わせ、汚れた者は、なお汚れるままにしておけ。正しい者には、なお正しいことを行わせ、聖なる者は、なお聖なる者とならせよ。12 見よ、わたしはすぐに来る。わたしは、報いを携えて来て、それぞれの行いに応じて報いる。13 わたし

はアルファであり、オメガである。最初の者にして、最後の者。初めであり、終わりである。

14 命の木に対する権利を与えられ、門を通って都に入るように、自分の衣を洗い清める者は幸いである。15 犬のような者、魔術を使う者、みだらなことをする者、人を殺す者、偶像を拜む者、すべて偽りを好み、また行う者は都の外にいる。

16 わたし、イエスは使いを遣わし、諸教会のために以上のことをあなたがたに証した。わたしは、ダビデのひこばえ、その一族、輝く明けの明星である。

17 「霊」と花嫁とが言う。「来てください。」これを聞く者も言うがよい、「来てください」と。渴いている者は来るがよい。命の水が欲しい者は、価なしに飲むがよい。

18 この書物の預言の言葉聞くすべての者に、わたしは証しする。これに付け加える者があれば、神はこの書物に書いてある災いをその者に加えられる。19 また、この預言の書の言葉から何か取り去る者があれば、神は、この書物に書いてある命の木と聖なる都から、その者が受ける分を取り除かれる。

20 以上すべてを証しする方が、言われる。「然り、わたしはすぐに来る。」アーメン、主イエスよ、来てください。

21 主イエスの恵みが、すべての者と共にあるように。